

お知らせ 市の除雪出動基準が変わりました

市が管理する道路（除雪対象548路線）において、冬期間の交通の確保と通行の安全を図るために、12月1日から翌年3月31日までを除雪対策期間として、除雪を行っています。
今年度から除雪車の出動基準を見直し、より迅速に除雪を行えるようにしました。

除雪車出動基準

【車道】 15センチ ↓ 10センチ
【歩道】 20センチ ↓ 15センチ

通勤・通学時に積雪による交通渋滞が起こらないように、除雪作業は深夜から早朝にかけて行っていますが、早朝の降雪や降雪量が通常より多い時には、除雪が予定通り行えないことがあります。皆さんのご理解と、除雪へのご協力をお願いします。

■問い合わせ 都市整備課 ☎内線245

除雪にご協力ください お願い

除雪車が通ったあとは、沿道に雪が残ってしまいます。玄関先は各家庭で除雪をお願いします。

路上駐車は除雪が遅れる大きな原因のひとつとなります。路上駐車は絶対にしないでください。

道路上の障害物となるものには、目印となる棒や赤色の布などをつけて、積雪後も目立つようにしてください。

雪を道路に捨てると、凍結して、事故の原因になります。除雪の際は雪を道路に捨てないでください。

指定路線の歩道除雪は車道除雪後となるため、同日の作業ができません。歩道除雪へのご協力をお願いします。

雪の予報が出たり、降雪時には、いつもより早めに出動するなど時間に余裕を持った行動をお願いします。

消火栓・防火水槽の除雪にご協力ください

地域の消火栓・防火水槽が雪でふさがれると、消防作業の大きな妨げとなります。近所の消火栓・防火水槽の除雪へのご協力をお願いします。

若狭消防署 ☎53・5211



人が交流するまちを目指して

歴史ある農村地域として、また住宅地として多くの人が暮らす今富地区。いきいきまちづくり委員会をはじめ、各団体が住民参加によるまちづくりを進めています。

その地酒の名は「岳風」 「今富酒造り体験事業の会」



11月に行われた地酒仕込みの様子

今富の地酒を造ろうと、住民らが平成7年に酒造り体験事業の会を結成。毎年5月から酒米を栽培し、できた米を原料に、地区に残る市内唯一の酒造会社と連携して、11月に仕込みを行い、12月には約5千本が完成。多田ヶ岳から吹き降ろす風をイメージして「岳風」と名付けられたこのお酒は、会員に配るほか一般にも販売しており、県外からも買い求める人がいるほどの人気となっています。



(上)11月23日に行われた点灯式、(下)地域住民でツリーを制作

光でつながれー住民の輪 ペットボトルツリー制作

地区の有志約50人と公民館を中心に、住民から集めたペットボトル4千本ずつを使った高さ6.5mのクリスマスツリーを、公民館前と道の駅前に設置。11月23日の点灯式で多くの参加者を前に明かりがともされました。このツリーは、1月末までの17時〜22時の間に点灯しており、冬の名所の一つとして多くの市民や観光客の目を楽しませていきます。

中嶋昭義さん(68歳・生守)



「ペットボトルツリーや酒造り、田んぼアートなど多くの公民館事業、ボランティア活動に参加

子どもから高齢者まで参加できる夢あるまちづくりに住民が参加し、楽しみ、喜んでくれることを目指して活動しています。みんなの笑顔が、ボランティアをしている私たちに元気をくれます。これからも地域の絆を高め、夢実現のために「やるぞー」。

NEWS

地域協働型のまちづくりを視察



11月28日(金)に、市の関係部署とまちづくり委員会代表者など24名が、今後のまちづくりにふさわしい地域拠点のあり方を考えていくために、滋賀県近江八幡市の地域住民拠点施設の取り組みを視察しました。



地域の3世代と一緒に稲刈り体験

ンパスに見立てて、絵や文字を描く企画で、子どもから大人までいっしょに楽しみながら田植えや稲刈りを行っています。

地域の絆を描こう！ 田んぼアートで世代間交流

中高年層が中心の公民館活動に、若い世代に参加してもらおうと、平成21年に地区有志で「田んぼアート楽しみ隊」を結成。地域資源の一つである田んぼをキャンパスに見立てて、絵や文字を描く企画で、子どもから大人までいっしょに楽しみながら田植えや稲刈りを行っています。